

アダプト通信

VOL. 6

NPO 法人ひろしまアダプトは、広島県内の道路・河川等あらゆる土木公共施設を対象としたアダプト活動を支援し、行政機関との連携を図りながら、行政と住民・民間団体の協働による公共施設の適切な保全・活用及び環境保全並びに公共施設の愛護機運の促進等を図るとともに、その活動を通して地域の活性化に寄与することを目的として、提案や活動を行っています。

2011年3月31日発行 第6号
発行／NPO 法人ひろしまアダプト
広島市中区紙屋町1丁目1-17 広島MIDビル
TEL (082)240-0768 FAX (082)248-7565

アダプト・フォーラムin三原を

開催しました

NPO 法人ひろしまアダプトは、2010年(平成22年)12月12日、三原市中央公民館2階中講堂で、アダプト・フォーラムin三原「わたしたちの道と川、一緒に考えませんか」を開催しました。内容は次の通りです。

基調講演

「わたしたちの道と川、
一緒に考えませんか」

講師：NPO 法人ひろしまアダプト
理事長 丸山 孝志氏

■活動団体の課題と悩み

アダプト活動を継続していくと、現場ではさまざまな悩みや課題が発生します。活動団体の悩みは大きく分けて「活動の停滞」「活動の限界」「資金の不安」の3つです。課題解決のためには、広島県・市町・活動



団体という3者の意見交換をもっと活発にする必要があります。

課題解決への提案をさせていた
できます。活動を活性化させる鍵
は3つあります。一つ目は「リー
ダーの存在」。自分なりの信念と夢
を持ち、明るく楽しく活動するリ
ーダーがいると、活動が元気にな
ります。二つ目は「仲間の心」。参
加した時に「また参加したい」と
思えるような内容だと、活動が活
発化します。本来の活動にプラス
して、「また参加したい」と思える
ような何かを工夫しましょう。三
つ目は「活動団体同士の交流」。年
に1回程度、他の活動団体との交
流や共同活動を計画してほしいと
思います。

■地域の環境を守るために

活動団体だけで地域の環境問題
を解決することは不可能です。「ど
うせだめだから」と諦めず、常に
行政と密接なコミュニケーションを
図ってください。しかし行政にもで
きないことがあります。過剰な期
待や要望はお互いの害になります
から、行政に甘えるのはNGです。
まず自分達でやるべきことをやり、
そのうえで「どのような協力であ
ればお願いできますか」と提案す
るスタンスが必要です。地域を管
理しているのがごごであることも、
「地域の環境を守るのは私たちだ」
という気概を忘れないください。
地域の環境を守るのは、いろいろな
皆さん一人ひとりがです。



広島県アダプト制度の
マスコットキャラクター
「アダピィ」です

広島県アダプト制度の実態調査

講師：NPO法人ひろしまアダプト 副理事長

清田 誠良氏

■アンケート調査の実施

平成22年7月26日から8月10日にかけて、アダプト制度に対する認識や要望、現状課題などを把握するために、認定団体を対象に行いました。433通を配布し、そのうち281通を回収しました。回収率は65・8%になっています。アダプト活動を継続する上での感想や意見も、数多くいただきました。

どの認定団体も安全対策には気を配っており、特に交通安全に対する工夫が見られます。会員確保と作業負担軽減を図るため、町内や地域住民との共同作業、他団体との同時実施、若者への声かけが行われています。

■アンケート調査から見る実態

高齢化と参加者不足はどの団体も深刻であり、特に山間部の団体の大半が高齢化に頭を悩ませています。「メンバーが全員高齢なので、体力的に辛い」「急斜面を高齢者だ

けで作業しているの、いつ事故が発生するか分からない」「地域に若者が住んでいないので、参加者を募ることができない」といった深刻な状態になっています。高齢化による参加者不足については、解決方法を探っていきたいと思います。

行政に対して「アダプト担当者は現場を知らないのでは?」という意見が出ています。担当者の方は団体の活動に参加し、現場を理解していただければと思います。



アダプト活動団体の活動報告

■堂々川ホテル同好会

発表者：土肥 徳之氏



堂々川の中流、1.5kmの範囲で活動しています。毎月1回清掃活動を行っています。参加は自由で強制はしていません。毎月の作業後に情報誌を配布し、その情報誌に「次の活動は、いつ、どこで、何をするか」を告知するのが特徴です。

活動内容は「ホテルをたくさん飛ばすため、川周辺の草刈りやゴミ拾いをする」「不法投棄防止のために花や桜を植え、花を見に来る人を増やして監視の目を増やす」「山や川的美観を整えるために清掃する」「地域や小学校のみなさんにホテルを通した環境の勉強会を

開く」「登録有形文化財の砂留を守る」「イノシシ退治や、広島県の絶滅危惧の両生類を保護する」の6つです。ホテルを増やす活動としては、砂留にビオトープを作りホテルの産卵場所としました。産卵場所周辺の草刈りと、幼虫のエサとなるカワナナの補充をしています。美化活動としては、月1回ゴミ拾いを行っています。継続するうちに、散乱ゴミの量が1/3になりました。植栽活動としては、色とりどりの彼岸花、水仙や桜、シヨウブなどを砂留に植えています。福山市環境啓発課の応援をいただき、水質調査も実施します。

現在の課題は、ゴミを捨てる人とイノシシの存在です。イノシシは川に入ってカワナナを食べるので、ホテルがいなくなるのです。そこでイノシシを捕獲する箱罠をしかけ、イノシシ退治にも取り組んでいます。

■NPO法人森のおさるさん

私たちが住んでいる三原市本郷町梨和の里は、広島県の明日香村と呼ばれる歴史深い里山です。生活と産業の変化や人々の自然離れにより、山も川も荒廃し続けています。「これではいけない」と有志数名が結束して活動を開始。平成14年に「森のおさるさん」という団体を立ち上げました。心身ともに健康で明るい町を作っていくという気持ちを持ち、多くの人に持ってもらうことを目的に、さまざまな活動をしています。アダプト活動としては、ラブリバーとマイロードの両方に参加しています。

活動範囲は全長4.8kmの梨和川と、それに並行して走る県道59号線です。県道59号線は交通量が多く、ほとんどの車が猛スピードで走り抜けます。しかも川岸から伸びた草がガードレールより高くしげるため、見通しが悪くて危険です。そこで年4回草刈りをしているのですが、距離も長く斜面が急なため非常に苦労しています。

「ゴミ拾いや草刈りは単純作業なので、1〜2回参加すればあきて

発表者：片山 忠行氏

しまいます。継続していくために何か面白みをプラスしようと、「ふれあい水辺づくり」を実施することにしました。草刈りに参加できない人も楽しめるよう、川辺で竹細工やバームクーヘン作りに挑戦してもらおうイベントです。こういった楽しい雰囲気作りも、活動を継続するうえで必要だと思えます。また、年に1回竹原市民と共同で、西国街道の整備も行っています。私たちボランティア団体には、垣根がありません。県民の自由な発想のもとで協働のまちづくりを実施します。



■ボランティアアロード三原

ボランティアアロード三原の運営主体は、「みはらまちづくり兔」というボランティア団体。町づくりにかかわるボランティア活動に携わるほか、港湾ビル1階でシヨップを運営しています。港湾ビルを走っている国道には大きな花壇があるのですが、草ぼうぼうになっていて荒れたイメージがありました。そこで「みんなで整備しよう」と思い立ち、平成21年12月に「みなとオアシス三原」という名前で国土交通省のボランティアアロードに登録しました。

まず最初に、荒れ放題だった花壇の草を抜いて「新しい花が植えられるように」整備を開始。平成22年の2月には、400株のペチュニアやパンジーを、ボランティアの方と一緒に植え付けました。すぐに枯れてしまったのは意味がないので、農業支援技術者の人にアドバイスを受けながら作業を行いました。作業後は参加者にお茶やぜんざいをふるまいました。小さな子どもも一生懸命に取り組んでくれるので、もっと子ども

発表者：末本 房子氏

もが参加しやすい形で活動できればと思っています。

現在の課題は、水やりと花の入手方法です。こういった花壇は水まきを考慮して作られていないため、取水栓から離れているのです。現在は大きめのじょうろで往復しながら水やりをしています。かなり広い花壇なので大変な作業になります。花の入手方法については、「お金を出して苗を購入してもらい、その代わりに提供者名を掲示してはどうか」など、さまざまな方法を話し合っています。



基調講演と活動報告を受けて 「フォーラムデイスカッション」



大森…活動を続けていると、どう

しても課題や問題点が出てきます。アンケート調査の結果はいかがでしょうか？

清田…高齢化と参加者不足が問題になっています。

宮本…全国的にみても、活動のマンネリ化と参加人数の伸び悩み、高齢化が大きなポイントとなっています。

大森…活動のマンネリ化や参加者不足について、どんな工夫が必要なのでしょう？

丸山…「自分たちのメンバー以外」に応援を求めましょう。例えば、地元の土木業者さんであれば、人材と機材の両方で協力を得られるでしょう。また地域には、奉仕活動ができる場所を探している団体があります。

参加者…企業にもアダプト活動は浸透しています。地域貢献をし

ていれば指名の際にポイントが加算されますので、企業は喜んで協力します。遠慮なく声をかけてください。

大森…やりがいや喜びが、活動の継続につながると思います。これを支えるために行政では、どんな支援を行っているのでしょうか。

藤井…まず活動団体の活動区間に看板を設置しています。また、万が一に備えた傷害・賠償責任保険に加入しています。加えて、平成20年度より奨励金交付を実施しています。草刈り機の燃料代や苗代など、経費の一部に充てただければと思っています。今年にはマスコットキャラクターを策定しましたので、キャラクターを使ってPRしていきたいと考えています。

大森…やりがいや感動をもっと広げていくための、アイデアやアドバイスをお願いします。

丸山…行政と折衝する時の心がけをお話します。折衝の際の参考にしてください。

「行政担当者」と話し合うにあたっての配慮

- 1 できるだけアポイントを取る
- 2 事前に要望・質問事項を書いたメモを渡しておく
- 3 できるだけ一人で行く。数で威圧しない
- 4 感情的な発言を避け、大声を出さない
- 5 相手の立場や事情、考え方をよく理解する
- 6 自分の考えや要望、希望を押し付けない
- 7 「行政はみんな同じ」という偏見や先入観を持たない

「行政担当者」と接する時の考え方

- 1 自分たちの要望や希望や意見は、行政から見たらどう見えるのか
- 2 自分たちの要望や希望や意見の正しさを、どうすれば理解してもらえるか
- 3 自分たちの要望や希望や意見はどうすれば実現するのか、行政の意見や考えを聞く
- 4 今すぐ受け入れられなくても、焦らない怒らない諦めない
- 5 行政が私たちに期待していることは何か、何ができると思っているのか考える
- 6 行政は敵ではなく、味方にしなければならぬ
- 7 行政に携わる一人ひとりに、行政のご都合による協働ではない本当の協働について理解してもらえよう努力する

コーディネーター

大森 富士子氏

(NPO法人ひろしまアダプト副理事長)

パネリスト

宮本 和幸氏

(社団法人器具環境美化協会業務部長)

藤井 照憲氏

(広島県土木局土木整備部道路河川管理課長)

丸山 孝志氏

(NPO法人ひろしまアダプト理事長)

清田 誠良氏

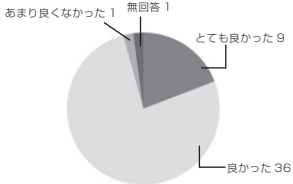
(広島工業大学工学部建築工学科・建設工学科教授、NPO法人ひろしまアダプト副理事長)

アダプト・フォーラム三原 アンケート結果

実施日：2010年12月12日(日)
回収数：47

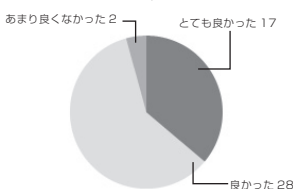
Q1 基調講演「わたしたちの道と川、一緒に考えませんか」について

- ・中間支援組織と活動団体両方の立場での苦勞が感じられ、解決法も提示している
- ・解決への具体策は、もう少し突っ込んだ話が必要だと思つ



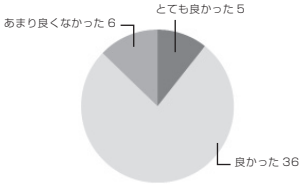
Q3 アダプト活動報告について

- ・幅広く活動されており感心した
- ・参考になる事例が多かった。今後に生かしたい



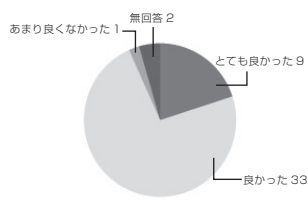
Q2 広島県アダプト制度の実態調査について

- ・アンケートは時々実施した方がよい。色々なことが分かった
- ・他者がどのような意識で活動しているのか参考になった



Q4 フォーラムディスプレイについて

- ・行政との折衝の仕方が参考になった
- ・意見交換会があればよいと思う



その他アダプト・フォーラムについてのご意見・ご感想など

- ・活動の目的や内容をもう一度見直し、中身のある活動にしていこうと思つ
- ・実践活動の紹介やテクニックを知らせてほしい
- ・グループディスカッションを組み込んでみては?
- ・子どもに美化意識を芽生えさせ活動を継続させるためにも、子どもを巻き込むべき

正会員、活動会員、賛助会員紹介

法人

正会員

- (特非) グリーンラインを愛する会
- 小屋敷建設株式会社
- 有限会社立田組
- 大津建設株式会社
- 有限会社円建設

活動会員

- 株式会社山陽ホドス三次営業所
- 株式会社セトウチ
- 土地家屋調査士協会 番野木
- 株式会社和田組 和田一雄
- コカコーラウエストジャパン 福田
- 株式会社玉川工務店 玉川
- 株式会社西風テクノ 林裕次
- 井上建設株式会社
- 芸南建設有限公司

賛助会員

- 食品容器環境美化協会
- 長岡鉄工建設株式会社

個人・任意団体

正会員

- 永田川カエル倶楽部 池田朝雄
- 大森 富士子
- 清田 誠良
- 丁川流域振興協議会 亀井承徑
- 天川 充弘
- 正本 良忠
- ファーム五 田坂素臣
- めくしな桜の会 檜山祐三
- 胡子 吉生
- 松波 龍一
- 山本 一隆
- 薦田 直紀

活動会員

- 沼田川を愛する戸野区民 松浦義弘
- 阿戸町第5区町内会
- みずえ緑地株式会社 正本 大
- グリーンロード都図 眞牧 智之
- 土生 平雄
- 里山クリーンの会 土手義孝
- 網引学区自治会連合会 江草
- 柞磨中老人クラブ
- 美道守会 井上光徳
- 貞重区 安江基彦

賛助会員

- 西原・金剛丸集落 国藤貞造
- 小田地域たんぼぼ 重津良子
- 山梨行政区 仲山稔
- 堂々川ホタル同好会
- あけぼの ひまわりの会
- 森脇 雄二
- ひまわりの会 西田祐三
- 東子ふれあいの会 金原英夫
- 大歳 栃木 孝子
- 佐藤 敬
- 大河内ざくらの会 佐々木靖幸
- 明社東広島地区協議会
- サロン白原 高橋利定
- 芦田川水系本永谷川 田上秋夫
- 花房 秀俊
- 乗本 幸雄
- 服部赤谷下老人クラブ 田上嘉正
- 深江自治会 畑本博敏
- 大君自治会 真谷 宏美
- 鹿川ドリームグリーンロード愛好会 橋野 孝
- 西部建設事務所安芸太田支所
- 北部建設事務所庄原支所課長会
- 広島市西部建設事務所
- 広島港湾振興事務所
- 西部建設事務所管理課
- 住宅供給公社 岡崎俊
- 東部建設事務所
- 西部建設事務所呉支所

第11回環境美化教育優良校等

表彰式が開催されました

(社) 食品容器環境美化協会 (食環協) は環境美化の推進に取り組んでいます。その主要事業として、まち美化 アダプト・プログラムの普及推進と



ならんで、環境美化教育優良校等表彰があります。本年度、第11回環境美化教育優良校等表彰式が、1月28日(金)東京プリンスホテルにて、多数の参加者の中、盛大にかつ厳粛な雰囲気のもとで開催されました。

この表彰は当協会が平成12年から実施してきたもので、環境美化教育に独創的、継続的に取り組む、公共の場所の美化、飲料空容器などのリサイクルを実践している小中学校などを、「散乱防止活動部門」「リサイクル活動部門」のそれぞれについて、

都道府県の推薦に基づき表彰するものです。



能登原小学校 農林水産大臣賞受賞

今回は43の都道府県から両部門計72校の推薦があり、審査委員による厳正な審査の結果、最優秀校8校の中に、広島県から福山市立能登原小学校が散乱防止活動部門で選定され、農林水産大臣賞を受賞しました。また、呉市立蒲刈中学校が、リサイクル活動部門で優良校賞を受賞しています。

詳細は下記問合せ先にご確認ください。

場 所	日 時	場 所	日 時
県西部建設事務所	4/18 (月) 13:30 ~	県西部建設事務所東広島支所	4/22 (金) 14:00 ~
県西部建設事務所呉支所	4/19 (火) 13:30 ~	県東部建設事務所	4/25 (月) 13:30 ~
県西部建設事務所廿日市支所	4/20 (水) 13:30 ~	県東部建設事務所三原支所	4/26 (火) 13:30 ~
県西部建設事務所安芸太田支所	4/21 (木) 13:30 ~	県北部建設事務所	4/27 (水) 13:30 ~
竹原市役所	4/22 (金) 10:00 ~	県北部建設事務所庄原支所	4/28 (木) 13:30 ~

※説明会と併せて意見交換会を行う予定です。

問合せ先 広島県土木局道路河川管理課 (TEL:082-513-3903)

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/page/1201591144712/index.html>

平成23年度奨励金交付事業の説明会を開催します



第4号：神石高原町役場

企業や場所を知っているという方がおられましたら、ぜひ事務局までご連絡ください。

平成22年12月、飲料メーカーさんとタイアップして「ひろしまアダプト支援自動販売機」が誕生しました。アダプトマークされたピンク色の自動販売機で飲料を購入すると、その資金の一部がNPO法人ひろしまアダプトに寄付される仕組みになっています。目標設置台数は200台。第1号は安芸高田市庁舎、第2号は安芸太田町役場に導入されました。そしてこのたび、第3号が日赤看護大学の学生寮「ルイーダ廿日市」へ、第4号が神石高原町役場へ、第5号が有限会社ハイテックに設置完了。「アダプト支援自動販売機の設置を検討したい」「設置を検討してくれそうな

企業や場所を知っているという方がおられましたら、ぜひ事務局までご連絡ください。



第3号：ルイーダ廿日市

NPO法人ひろしまアダプト支援自動販売機が続々と導入されています